

PGA-1

コースガイドンス

～ケアマネジメント基礎コースの全体像～

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
相談支援部長・なごや高次脳機能障害支援センター参事
小島 一郎

令和7年度相談支援従事者指導者養成研修の構成

	内 容			
1日目 (6/4)	PG01 ガイダンス PG02-08 講義・シンポジウム 施策等の最新の動向（現状・今後の方向性 ⇒ 地域で取り組むこと等を確認 ）			
2日目 (6/5)	ケアマネジメント基礎 ミクロレベルのケアマネジメント（いわゆる個別支援）とその研修における取扱いについて 【主に初任者研修、現任研修】	地域づくり メゾ～マクロレベルのケアマネジメント（いわゆる地域づくり）とその研修における取扱いについて 【主に現任研修、主任研修】	人材育成 実地教育(OJT)を含めた人材育成及びそれと連動した都道府県での研修づくり、人材育成体系の構築について 【主に主任研修・実習】	自治体職員 ・都道府県の役割 ・市町村支援 研修の効果的な実施方法や人材育成体系の構築について
3日目 (6/6)	PG09都道府県における研修実施上の留意点や工夫 各研修実施上の配慮点や共通点等（テキスト改編事項）・人材育成体制構築の重要性等			
	PG010-11 都道府県単位でのグループ演習と全体共有 ①同一都道府県の受講生間での共有を図り、 ②都道府県での課題と今後の課題解決に向けた取組 について協議			
4日目 (3/6)	今年度の振り返りと次年度のより効果的な研修等の実施に向けて 【主に実践報告や情報交換、課題整理等（予定）】			

継続的なブラッシュアップを実施

本コース2日間の流れ

6月5日(木)	
	研修全体のガイダンス
9:00 -9:10	コースガイダンス
9:10 -12:10	ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法
12:10 -13:10	昼休憩
13:10 -16:05	ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法
16:15 -17:10	演習講師への事前説明・研修の重要性
17:10 -17:20	2日目のまとめ
	研修全体のまとめ

6月6日(金)	
	研修全体のガイダンス
9:00 -9:10	法定研修の流れと現任者に求めるスキル
9:10 -10:30	個別支援における意思決定支援の教育方法
10:45 -11:30	現任研修の意思決定支援の研修企画・運営
11:30 -11:50	3日目のまとめ
11:50 -12:00	2日間のまとめ
	 午後のプログラムへ

本コースの対象

「ミクロレベルのケアマネジメント(いわゆる個別支援)とその研修における取り扱いについて」【主に初任者研修・現任研修】

- 初任者研修: 相談支援の業務(価値・知識・技術)を一通り学ぶ
モデル(となる教材)が必要
研修に携わる人たちの間での共通理解と協働が必要
- 現任研修 : 相談支援専門員としての業務を振り返り、
今後のスキルアップにつなげる
振り返りを促す仕掛け(ツールや手法)が必要
演習の中でミクロ→メゾと視点を変えていく仕掛けが必要

今日

明日

2日目のまとめ

本コースの対象

「ミクロレベルのケアマネジメント(いわゆる個別支援)とその研修における取り扱いについて」【主に初任者研修・現任研修】

- 初任者研修: 相談支援の業務(価値・知識・技術)を一通り学ぶ
モデル(となる教材)が必要
研修に携わる人たちの間での共通理解と協働が必要
- 現任研修 : 相談支援専門員としての業務を振り返り、
今後のスキルアップにつなげる
振り返りを促す仕掛け(ツールや手法)が必要
演習の中でミクロ→メゾと視点を変えていく仕掛けが必要

「相談支援の実際」(演習1、2日目)に盛り込むべき内容のチェック

	盛り込むべき内容	✓	工夫や課題
①	ケアマネジメントプロセスに沿った演習展開		
②	演習の目的に適したモデル事例の準備		
③	初期相談を想定した模擬面接、コミュニケーションへの配慮		
④	情報収集～ニーズ把握の思考過程		
⑤	ジェノグラムやエコマップといったツールの活用		
⑥	ストレングスモデル、生物・心理・社会モデル、ICF等の活用		
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等 利用計画の作成		
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用		
⑨	模擬サービス担当者会議の体験		
⑩	モニタリングの理解と記録の作成		
⑪	相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行		

ニーズ整理票（確認）

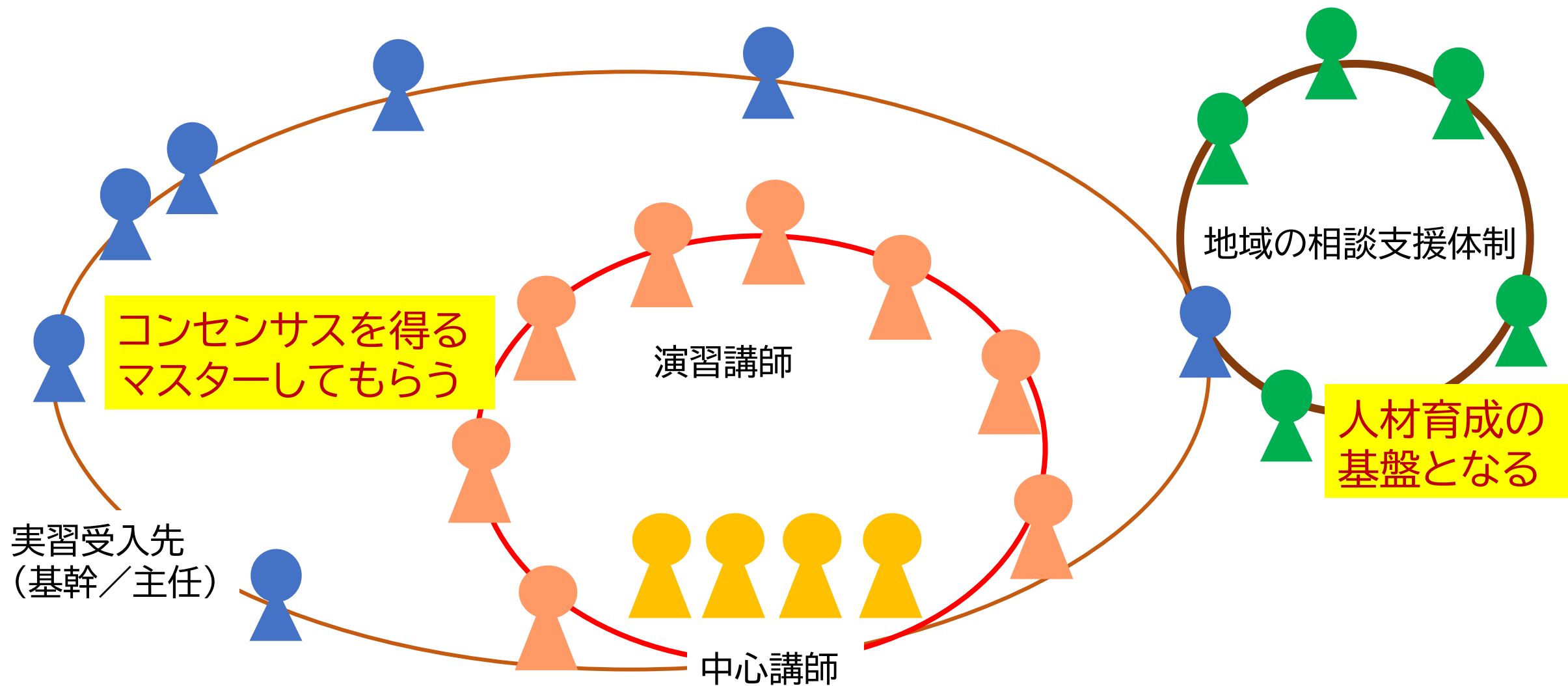
インタビュー		アセスメント		プランニング	
課題の整理 (現状・課題、望むこと、データなど、調査)		理解・解釈・整理 (作成者の伝えたいこと、整理・整理)		対応・方針 (作成者がやるべきこと)	
本人の表明している 希望・解決したい課題	(作成者の)伝えたい課題	本人			
		関係者			

ニーズ整理票は、

- 整理するためのツール
アセスメント結果から、
真のニーズ
思考過程（私はこう考える）
仮説の根拠
（必要な情報を取捨選択）
⇒支援をするための基盤になります

- 言語化するためのツール
担当者会議等で、
支援方針や支援内容等を報告
行政担当者へ、
支給決定の根拠を報告
沢山ある情報の中から取捨選択し
必要な情報だけで端的に説明する
（ケースレポートをする）
⇒演習3日目につながります

研修に携わる人たちの間での 教材の理解と協働



明日の演習に向けて